



隠岐島後

隠岐は絵ノ島、花の島と歌われています。今からおよそ1300年前前に記録された全国で唯一ほぼ完本の「出雲国風土記」の時代に、隠岐の島町はどんな様子だったのか、守り伝えられた神社の歴史をたどり、隠岐島後の魅力を改めて考えてみませんか。

古代史講演会

講演
無料

定員150名様

日時／

平成30年

4月1日(日)
13:15~14:45

場所／ 隠岐島文化会館2階集会室
(隠岐の島町西町吉田の二2)



久見地区 伊勢命神社御神幸



久見地区 久見神楽



布施地区 山祭り



国分寺蓮華会舞



玉若酢神社御霊会風流

演題

「北の海の宝島、島後」

日本地名研究所 所長

講師 関 和彦氏



講師 関 和彦 先生

プロフィール

東京都生まれ。
1969年早稲田大学文部卒業。
95年「日本古代社会生活史の研究」で博士(歴史学・國學院大)、日本地名研究所長、島根半島四十二浦巡り再発見研究会座長、山陰ケーブルテレビジョン「うらうらとゆく〜島根半島四十二浦巡りの旅〜」の歴史解説

【島根半島四十二浦巡り神社一覧】



お問い合わせ
隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会
TEL 08512-3-1321 E-mail info@oki-geopark.jp
島根半島四十二浦巡り再発見研究会
TEL 090-4572-0641 E-mail kowata189sky@yc4.so-net.ne.jp

主催／隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会
後援／島根半島四十二浦巡り再発見研究会